

附属機関等会議録

令和5年8月14日

会議の名称	令和5年度 第1回島田市中小企業・小規模企業 振興推進会議
開催日時	10時30分から 令和5年8月7日（月） 12時00分まで
開催場所	島田市役所4階 第3委員会室
会議の議題	1 開会・会長の選任 2 説明及び意見交換 ・令和5年度商工課における中小企業支援施策 ・昨年度会議の振り返り及び事業実施状況報告 ・人を大切にする経営大賞について ・人材確保・育成に係る実施事業について 3 閉会
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	公開
公開の場合の傍聴人の数	4人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	<p>年度初回の会議であったため、まずは、中小企業・小規模企業振興基本条例の趣旨、各団体の役割及び令和5年度島田市商工課における中小企業支援施策を各委員に共有した。</p> <p>その後、</p> <p>「① 昨年度会議の振り返りと海外展示会出展事業費補助金（昨年度本会議で議論、本年度から受付開始）の実施状況</p> <p>「② 「人を大切にする経営大賞」（本年度開始）</p> <p>「③ 人材確保・育成に係る実施事業</p> <p>※「人材確保・育成」は昨年度からの継続テーマ</p> <p>について、事務局説明のうえで議論した。</p>

「① 昨年度会議の振り返りと海外展示会出展事業費補助金の実施状況」

→ 昨年度は、単年度のテーマを販路拡大、長期的なテーマを人材確保・育成とした。人材確保・育成に資する事業を令和6年度に開始の方向で議論してきたことを確認した。

→ 海外展示会出展事業費補助金の最終的な事業内容と実施状況について共有した。

- ・海外での展示会出展に向けた取組に対する補助

- ・補助率：2分の1 補助限度額：40万円

- ・予算：200万円

- ・対象経費：出展、現地調査、広告宣伝等の費用

- ・日本貿易振興機構と連携したセミナー等で利用促進の取組を進めている。

「② 「人を大切にする経営大賞」

○事務局から概要と状況説明

- ・平成30年度から開講した「嶋田塾」が5期目を迎えたことによる節目として事業開始

- ・応募資格と審査基準を詰めている段階

- ・9月～10月にかけて募集し、その後書類、現地審査を経た受賞企業決定の予定。2月に結果発表し、3月に表彰式のスケジュール。

- ・人を大切にする経営学を実践する市内企業を表彰し、その取組を市内外へPRすることで、他企業への波及効果を図りたい。

○委員から

→事業に賛成する。公平性や専門性の観点から、資料に記載の団体にはぜひ実行委員会に入っていただきオール島田で取り組んでほしい。

→受賞企業のメリットについても、具体的に考えていった方がいい。

→表彰を受けてメリットがあれば、頑張ろうという企業も出てくる。具体的なスパンは別にしても、継続した取組としてほしい。

「③ 人材確保・育成に係る実施事業」

○人材確保に係る課題への対応事例と人材確保につながる人材育成の取組事例を事務局から紹介

以下の意見があった。

- ・若者の印象として、以前は仕事の中に生活があったが、今は生活の中に仕事があり、趣味・楽しみを大事にしている。
- ・憧れ（理想）と現実とのギャップで、入社後数年でやめてしまうことから、最近は新卒採用していない。
- ・採用後のサポートを丁寧にしていくことが切り口のひとつと思う。
- ・将来的にこの地域に戻り、暮らしたいと思わせるために、他市からも学ぶことは必要。
- ・地域を楽しく知ることやふれあうことは、将来的に人材確保・育成につながるのではないか。
- ・離職を防ぐためには、うまくキャリアアップさせていく教育や福利厚生面の改善が必要だが、そこは企業の努力次第。

●事務局から人材確保のための取組案を提示。

○高校生が就職先に求めるものをヒアリング

（目的）

時代のニーズにあった採用活動展開のため、高校生が就職先を選ぶうえで大切にすることをヒアリングし、企業にフィードバックする。

以下の意見があった。

- 高校生が企業に求めていることを、企業にフィードバックし採用活動に活かしてほしい。
- 現代の子どもたちの中には、ユーチューバーになりたい、eスポーツで暮らしていくといった職業選択・価値観がある。世代間で違いも出てくるので意見を聞いてみることはいいことだと思う。

○小・中学生が親子で職場見学

（目的）

子どもが職業選択するうえで、親（保護者）の意

	<p>向や考えは少なからず影響する。親子での企業見学すをとおして、企業の認知からはじめ、将来的な採用につなげたい。</p> <p>以下の意見があった。</p> <p>→ こどもの就職先決定に親の影響はある。親をとおして地元企業の良さを子に伝えることは有効である。</p> <p>→ 社として似たような取組に参加した時、BtoCの企業は、生活の中で身近に感じているためか見学希望者がいるものの、BtoBの企業には希望者がおらず、ショックを受けた。この案では、バスに乗りさえすればそういった企業までも見学していただくことができ、素晴らしいと思う。</p> <p>→ 組合活動の一環で、就職動機を聞いたことがあった。親子で勤めている従業員（子）から、「工場見学に来たから」、「会社行事に参加して楽しかったから」とのが意見あり、親からの後押しは大きかったのではないかと思う。</p> <p>→ 小中学生に具体的な職場をイメージさせることは難しい。しかしながら、将来的な職業選択に役立つかもしれないので、まずは視野を広げるという意味での経験をさせてあげることが一番大切だと思う。</p> <p>● 改めて各委員から意見徴収する。今回会議での議論もふまえ、次回会議で来年度事業について議論していく。</p>
提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部 商工課
その他必要な事項	